

## 芸術学部の学生らが制作した3作品が 「天王洲アートフェスティバル2022」にて入選 ～うち2作品が審査員賞、学生特別賞を受賞～

大阪成蹊大学（大阪市東淀川区/学長 武蔵野實）芸術学部 造形芸術学科の学生からなる3ユニット（1ユニット2名）の作品が、「天王洲アートフェスティバル2022」（主催：一般社団法人 天王洲・チャンネルサイド 活性化協会 [東京都品川区/代表理事 三宅康之]）にて入選を果たしました。

本年で4回目の開催となる「天王洲アートフェスティバル2022」では、全国の多数のプロのアーティストから応募があった中、宮津大輔氏（森美術館理事）らによる厳正な審査を経て、本学学生の3作品が入選。入選した3作品のうち2作品は、準グランプリに相当する審査員賞、3位に相当する特別賞を受賞しました。2022年10月10日（月・祝）には、表彰式と宮津審査委員長による作品鑑賞ツアーが行われ、制作者である学生らも参加しました。

### 【天王洲アートフェスティバルについて】

2019年から開催されている「天王洲アートフェスティバル」は、「水辺とアート」をキーワードに、賑わいと魅力あるまちづくりを推進する品川区天王洲地域において、運河沿いの建築物への大型壁面アート、駅通路での壁面アート、公開空地への立体アートなど、「アートの島=天王洲」を心象付ける、海外作家を含めたシンボリックなアート作品を多数展示することで、天王洲の居住者や事業者のみならず、初めて天王洲を訪れる人も楽しめるイベントです。本年は「笑顔があふれる街」をテーマとして、国内のプロのアーティストを中心とした作品の募集が行われました。

### 【入選作品紹介】

#### ■ 審査員賞

〈作品名〉 playground

〈ユニット名〉 チームがんばりくん

〈制作者コメント〉

この倉庫はスポーツ系のイベントスペースになると聞いていたので「スポーツ」をテーマにしました。人は描かずに、あえて用具やグラウンドだけを描きました。自分だったらここで何をするかな、と見た人に自由に想像してほしいと思います。



縦5m×横10mの巨大な壁面に制作



制作者：岡 美咲さん、奥田 琴乃さん（いずれも造形芸術学科 イラストレーションコース4年生）

### ＜ 本件に関するお問い合わせ先 ＞

大阪成蹊学園 広報企画部 担当：草野・山内

TEL:06-6829-2606 FAX:06-6829-2747

Mail: kouhou@osaka-seikei.ac.jp WEB: <https://osaka-seikei.jp/>

2022年10月21日（金） 2/2

## ■ 学生特別賞

〈作品名〉 Planters aquarium

〈ユニット名〉 MISO

〈制作者コメント〉

子どもにも大人にも興味を持ってもらえるようにカラフルな色使いをしました。お魚を笑わせたり、優しい顔にしてあげたり、柔らかいウェーブや直線を取り入れたりと、水の硬度や温度感を表現しました。近所に保育園があるので、保育園に通う子ども達や大人の方にも、ここを歩くたびに楽しんでいただけたらと思います。



Harbor Oneビル前 植栽プランター（10点）



制作者：津田 宙さん(他大学生)、木下 未琴さん  
(造形芸術学科 アニメーション・キャラクターデザイン  
コース1年生)

## ■ 入選

〈作品名〉 smile cruise

〈ユニット名〉 宇宙船地球号

〈制作者コメント〉

「笑顔があふれる街」というのが全体のテーマだったので、笑っている口の上に人が乗っているように表現し、笑顔をみんなで運ぶクルーズをしているようなイメージで描きました。絵柄を工夫し、多様な人々の集まりであることが伝わるようにしました。



縦5m×横10mの巨大な壁面に制作



制作者：加集 陽さん、市川 凜さん (いずれも造形  
芸術学科 イラストレーションコース4年生)

## 【大阪成蹊大学 芸術学部について】

大阪成蹊大学 芸術学部は8つの専門的なコースを擁し、社会から求められるものに対して、周囲とコミュニケーションを図りながら共同してモノづくりが行える人材の育成を目標としています。現役のクリエイターとして活躍する教員を多数擁し、企業や自治体と連携した学びを多く展開しています。

＜ 本件に関するお問い合わせ先 ＞

大阪成蹊学園 広報企画部 担当：草野・山内

TEL:06-6829-2606 FAX:06-6829-2747

Mail: kouhou@osaka-seikei.ac.jp WEB: <https://osaka-seikei.jp/>